MOVEは、行動する、感動させるといった意味を含みます。会員をはじめ、産業界、地域のために全力で行動します。

# MOVE

The Kawaguchi Chamber of Commerce & Industry

2019 3 March Vol.544

川口商工会議所会報「むうぶ」

# 鐵を燃やして、ご縁を紡ぐ。

《特集》

**人と街を笑顔でつなぐ**

## 「第１回川口花火大会」開催

今月の表紙

**東洋シャフト株式会社**

取締役 黒田（くろだ） 泰孝（やすたか）さん

今月の表紙
# 東洋シャフト株式会社

取締役 黒田（くろだ） 泰孝（やすたか）さん

MOVE ③

見知らぬ土地でも駅や空港などから迷うことなく
目的地に向かえる有効手段、シャトルバス。
乗客を安全かつ効率的にいざなってくれるシャトルバスの運転手さん。
産業機械におけるシャフトを例えてみるなら、
そのような立ち位置といえるかもしれない。
「生産工場でレールなどを滑らかにまっすぐに動かすための
直動部品。言い換えれば、
**レールなどが正しく進めるように案内する**
**パーツが、シャフトと呼ばれる部品なんです」**
東洋シャフトの取締役、黒田泰孝氏が
非常にわかりやすく説いてくれた。

東洋シャフト株式会社は、
50年以上の歴史を誇るシャフトの専門メーカーだ。
泰孝氏の祖父にあたる創業者・黒田孝四郎氏が、
現在では主流となっている
**「ヤキイレスライドシャフト」を**
**他社に先駆け標準化したことから、**
業界内ではリーディングカンパニーとして、
その名を広く知られている。

一般消費者との接点は少ないかもしれないが、
現代の生産体系には欠かせないパーツ。
**極めて高い精度が求められているパーツ。**

東洋シャフトの先見の明と高い技術力は、
**今なお国内トップクラスなのだ。**
その製品は、もはや、部品の製造という枠に留まることはない。
今日ではモジュール（機械装置の機能的にまとまった部分）の設計に
至り、お客様の要望に合わせた品質が高い評価を受けている。
技術の進歩に伴う市場の求めに応じた革新は、
確固たる地位を築いた老舗であっても、
**いや、老舗だからこそ、**
**挑み続けなくてはならない命題の**
**ひとつであるのだろう。**

企業DATA
〒332-0032
埼玉県川口市中青木4-14-11
TEL:048-252-3008
http://www.toyoshaft.co.jp

平成29年度
ブランド認定製品
ビジネスを広げるいいもの
機械装置・付帯部品

「ただ、新しいことをやろうとするときは、いつも一旦立ち止まって、『ウチは一体どういう会社なのか』を必ずみんなで考えるようにしています。
当社は、鉄とともに歩んできた会社です。
創業以来のシャフト屋なんです。その原理原則を逸脱しないこと。
それをいつも大切にしています」

泰孝氏によると、創業者・孝四郎氏の
系譜を江戸時代にまで遡ると、**刀鍛冶**であったらしい。

「どうやら黒田家は、そのころから鉄と縁があったようで。実は祖父の
実家も、旋盤加工を生業にし今でも鉄とともに生きています」

## 鐵とともに生きる。

時代の求めに応じながらも、東洋シャフトの軸はブレない。
まるで、同社のつくる精度の高いヤキイレスライドシャフトのように。

東洋シャフトの「ガイド軸・送りねじモジュール（ヤキイレスライドシャフトおよび30度送りネジ）」は昨年度、川口i-monoブランドに認定された

# 人と街を笑顔でつなぐ「第1回川口花火大会」開催

川口商工会議所では、本商工会議所内に実行委員会（実行委員長：細野副会頭）を組織し、今年5月に控えている新元号への改元及び川口市中核市移行1周年を記念するとともに、地域の新たな観光資源の創生と地域経済の活性化に寄与しまちの一体感の醸成を図るため、「第1回川口花火大会」を開催します。

本花火大会は、本商工会議所が1952年から1959年までの間主催し、多くの市民の心を和ませた「荒川納涼花火大会」を60年ぶりに復活させ、初午太鼓や音楽とのコラボレーションが楽しめる打上総数7，000発の川口独自の花火大会です。

当日は、有料席専用の地元飲食店約30店舗による川口グルメフェスも開催します。

ぜひ、大会チケットをお買い求めのうえ、多くの皆さまのご来場をお待ちしております。

第1回荒川納涼花火大会（1952年）

## ◆開催目的

**地域社会融合**
様々な年代の新旧住民が携わることによって、地域コミュニティを強くします。

**観光資源**
大会の観光資源化によって、市民の郷土愛を高め街の一体感を醸成します。

**伝統産業**
鋳物業と所縁の深い初午太鼓の演奏によって、地域の伝統を再確認します。

**地域活性**
市内外からの集客によって経済効果を生み出し、地元企業を活性化します。

**環境教育**
会場周辺のゴミ拾いなどボランティア活動を通じ、豊かな感受性を育みます。

**記念事業**
改元と中核市移行1周年を記念し、新しい時代に明るい希望をもたらします。

川口は、昨年中核市として新たな一歩を踏み出しました。街が大きく成長しているなか、本花火大会は青年部が主管となり、奥ノ木市長をはじめとする関係各位の多大なるご理解ご協力により開催の運びとなりました。地域の新たな観光資源として定着し、川口の元気に繋がることを願っております。皆様方のより一層のご支援をよろしくお願い申しあげます。

川口商工会議所会頭
児玉 洋介

## 開催概要

日　時：5月18日（土）
16時30分～20時00分
花火打ち上げ
18時30分～19時30分
（予定）（荒天時中止）

場　所：川口市荒川町　荒川運動公園（会場マップ：左記）

主　催／川口商工会議所

主　管／川口商工会議所青年部

後　援／川口市・川口市観光物産協会・川口市商店街連合会・JR東日本 大宮支社・川口市内郵便局

詳細は、大会ホームページ、広報パンフレット（広報かわぐち3月号折り込み（市内町会加入世帯）、MOVE4月号同封）をご覧ください。

**打上総数 7,000発**

**会場MAP**

## チケット販売席種

※各カテゴリー内での座席指定はお受けできません。

**Aエリア（平地・ガーデンチェア席）**
1卓4名　20,000円

**Bエリア（平地・シート）**
4名シート　12,000円
ペアシート　6,000円

**Cエリア（土手斜面自由席・シート）**
1名　1,000円

## チケット購入方法

**3月1日（金）販売開始**

①イープラスからご購入　http://eplus.jp/kawaguchihanabi/▶▶▶▶

②市内チケット販売店からご購入（定休日、取扱い時間等、詳しくはホームページ）

※荒天中止の場合の払い戻し以外、チケットの払い戻しはいたしません。

| 販売場所 | 住　所 |
|---|---|
| 川口商工会議所 | 本町4-1-8川口センタービル8F |
| 川口市観光物産協会 | 川口1-1-1キュポ・ラ本館2階受付 |
| 菊伊勢屋 | 並木4-3-28 |

| 販売場所 | 住　所 |
|---|---|
| 鳩ヶ谷商工会 | 川口市鳩ヶ谷本町2-1-1 |
| 富田商店ペイントショップ | 飯塚2-14-2 |
| 共和機工㈱ | 本蓮3-16-10 |

※その他の販売場所はホームページをご覧ください。

## 協賛について

申込方法：川口花火大会ホームページからの申込または、今月号のMOVE同封の協賛チラシ裏面をご記入のうえ、下記問合わせ先へFAX送信もしくは窓口にてお申し込みください。

申込締切：3月29日（金）
※納入期限も同日

### クラウドファンディング

**第1回オープニング花火をみんなで上げよう!**

詳細はホームページをご覧ください
クラウドファンディング特設サイト▶▶▶▶

CLOUD ¥

**お問合わせ**　川口花火大会実行委員会（川口商工会議所内）
TEL:048-228-2220　FAX:048-228-2221
住所:川口市本町4-1-8 8F　大会ホームページ：http://www.1110hanabi.com ▶▶▶▶

企業潜入ルポ
会員さん
こんにち
WA!

## ㈱小林総研

取締役会長 小林 操二（そうじ）氏（左）
代表取締役社長 縄野 かほる氏

企|業|D|A|T|A
川口市里1519-7
TEL:048-281-8461
営業時間:9:00～17:00
定休日:土曜日・日曜日・祝日

# 幅広い分野の新たな製品を生み出す“発明家”

今回は、交通安全機器を始めとする様々なオリジナル製品を開発している「㈱小林総研」の小林 操二会長から話を伺った。

## 発明した製品が高く評価される

同社は１９９４年、道路標識等の開発や道路の白線工事を行う会社として設立した。それまでは個人で製品開発を行っていたが、設立の前年に開催された「夜間の交通安全国際会議・交通安全テクノロジー展」において、これまで長きにわたって開発してきた様々な交通安全機器が高く評価された。自身が発明した製品がしっかりと世の中の役に立てると自信を深め、広く伝えていこうと同社をスタートした。車両事故の際に使用する「非常信号灯」は、累計で１０００万本販売した同社を代表する製品である。非常発煙筒に代わる器具として国土交通省の保安基準に適合していて、点滅時間が長く発火物質が含まれないことから、安全性に優れていると高く評価されている。

非常信号灯

## 発明家の祖父を持つ

操二氏の父は若くして亡くなり、幼いころは祖父に育てられた。その祖父が発明家だったこともあり、操二氏にとって発明はとても身近でごく自然な活動なのだという。「アイデアはふわっと湧いてきます。そのアイデアを製品化することに苦労したことはありません。新製品はスピードが命。時間をかけていられませんから」と力強く語る。これまでに取得した特許の数は６５件。交通関連製品の特許は半数程度で、健康器具や生活雑貨など、開発した製品の分野は多岐にわたる。

## 「半導体セラミックチップ」を使用した製品群

現在、同社が最も力を入れて取り組んでいるのが、世界特許「半導体セラミックチップ」を使用した様々な製品群の開発である。このチップは、半導体技術研究の第一人者である理学博士・石黒三郎氏が発明・監修したもので、自然電位が－２００ｍｖに帯電し絶えず電流を流し続けている。新たに開発した「SCCコースター」は、このチップを内蔵したコースターで、ペットボトル等にいれた水を１～２時間置くだけで体に有益な機能水になる。水質の酸化を表す酸化還元電位（OPR）を測定したところ、コースターの使用前後で数値が４０％以上改善したという結果が出た。「論より証拠だと思い、一年間機能水を飲み続けたところ、自身の健康診断の結果が正常の範囲内になりました。水は生命の源で、水質が身体に及ぼす影響の大きさをあらためて感じます」と操二氏は話す。

SCCコースター（右）を内蔵したボトルホルダー

## 会長から社長へ受け継がれる

２０１８年９月、長女のかほる氏が社長に就任した。「元気なうちに進めたほうが良いと考え、半導体セラミックチップを置き土産にして社長を娘に譲りました。様々な展開をしてくれるものと期待しています」。ただ、社長職を退いたとはいえ、操二氏の発明への意欲は衰えることはない。現在は半導体セラミックチップを内蔵したコルセットを構想中だという。発明家としての情熱は会長から社長に受け継がれ、同社に新たな彩りが加えられていくだろう。